

# 弘前市・槌子（つちこ）ねぶた愛好会

## 「槌子ねぶた協賛金」並びに「弘前ねぶた丸ごと体験」申込について

### 趣 意 書

- 1 **弘前市・槌子ねぶた愛好会**では、伝統のある国の「重要無形民俗文化財」昭和55年（1980）に指定された**弘前ねぶた**を維持発展させ、後世に伝えるために、広く「**槌子ねぶた協賛金**」を募集することに致しました。

**弘前ねぶたの起源**、古くは文禄2年（1593）7月に藩祖津軽為信が京都滞在中に盂蘭盆会で二間四方の大燈籠を出したのが伝承としてありますが、又江戸時代の元禄期後半からの「七夕祭りの松明（たいまつ）流し・精霊流し・眠り流し」や「盆灯籠」などが融合変化して、現在の華麗な**弘前ねぶた**に発展してきた。



高さ7mのねぶた(鏡絵)

**弘前ねぶたの語源**については「眠り流し」→「ねむた」→「ねぶた（ねぶた）」と変遷した。表記については佞武多、禰ふたなど種々説があるようです。町を練り歩くようになったのは、明治から昭和初期にかけて、当時の弘前市内に多くあった「町道場」に通う士族や平民の子弟らを中心に集まる若者達がねぶたを作り練り歩いた。その中で他の道場、町会のねぶたと出くわすと、道路を譲れ、譲らないなどで喧嘩となり、相手のねぶたに石を投げつけたり、竹槍や木刀（時には日本刀）などで乱闘になり、しばしば死傷者が出るため、「ねぶた禁止令」がたびたび出されたのである。これを称して弘前「けんかねぶた」と言われているのであります。（現在、全く暴力沙汰はない）。その名残があっても今でも「石打無用」という言葉になって、ねぶたの肩の部分などに描く団体もある。一時戦争などで昭和13年（1938）から昭和21年（1946）まで中断していたが昭和22年（1947）に復活した。

**弘前市**では、昭和40年（1965）から本格的に合同運行として運営されたようですが、それまでは各団体、町内外を自由運行した為、他団体と出くわすと、道路の端に寄り、寄らないなどと諍いをおこし、稀に喧嘩沙汰になったこともあり、これを防ぐために、ねぶたを一堂に集め「合同運行」に移行したとの説もあります。

**弘前ねぶた**の運行母体は、主として「町会（自治会）単位」で運営しており、企業イメージを前面にだす所謂「企業ねぶた」は、80台参加の中で数える程度しかない。

近年、少子高齢化に伴いわが地域も、人口減少の波がひたひたと迫って来ております。**槌子ねぶた愛好会**地元の小学校でも、15年前は約900名の児童数でありましたが、現在450名前後まで減少しております。それでも弘前市の中で1～2番目に児童数が多い小学校です。それに伴い、**槌子ねぶた愛好会**の会員も、高齢化とともに徐々に減少し、現在の会員は80名を切りました。幸いに若い人が少しだけでも増えたことが将来に少し希望の光を見出してしております。しかしながら、会員の減少は即、運営資金の減少になります。

私たち**槌子ねぶた愛好会**役員は将来、若い人に運営を譲るまで力の限り頑張りますので、御趣旨をご理解くださいますとご協賛ご支援いただければ幸いです。

## 2 **槌子ねぶた協賛金の納入方法(受付・年中)**

1. 協賛金額 1口 1万円（振込による決済）

※趣旨に賛同される方の、振込により決済とする。

2. **申込用紙**を、FAXで御住所、御芳名、連絡先を確認できた方には、10月～12月上旬までに「**弘前いんご**」5kgを発送させていただきます。尚、自然災害で不作等の場合は、相当のお礼をさせていただきます。

### 3 「弘前ねぷた丸ごと体験」申込方法(毎年・申込締切・7月1日)

1. 参加金額 お一人様 **1口1万円**(振込による決済)・**毎日(3日間)20名限定**。
2. 弘前市内に宿泊を確保していること(予定の方)。
3. ①合同運行参加金額内訳：運行参加費、半纏大人用(貸与・クリーニング代)、飲食費。**豆絞りはプレゼント**。※残金は協賛金とさせていただきます。  
尚、運行時の事故は、原則各自負担とさせていただきます。(当会保険加入済)  
**申込用紙に**、御住所、御芳名、連絡先を記入の上、FAX・メールで送信。  
※日程、内容等は下記に記します。  
◎参加確認は電話で、申込は用紙をダウンロード、FAX・メールでお申込み下さい。

振込先：東奥信用金庫 浜の町支店  
榎子ねぷた愛好会 会長 川口勝則  
普通 店番 016 □座番号 0011605



○申込用紙ダウンロード

### 4 弘前ねぷた合同運行日程・ねぷた運行コース

1. 合同運行日程(榎子ねぷた愛好会の場合・時間凡そです)  
☆毎年8月2日 午後7時30分から (土手町コース)  
8月3日 同上 (同上)  
8月5日 同上 (駅前コース)

#### 2. 運行コース

☆土手町コース (1～4日)

弘前公園堀端出発 → 桜大通り (1日・2日審査場所) → 一番町 → 下土手町 → 中土手町 → 土手町十文字解散

☆駅前コース (5～6日)

萱町(かやちょう)・弘前郵便局向通り → 駅前通り → 大町 → 松森町十文字解散

弘前ねぷた囃子  
日本の音風景100選指定  
平成8年(1996)

### 5 合同運行参加方法(弘前ねぷた丸ごと体験タイムスケジュール)

合同運行出発地点集合 PM5:45 (榎子ねぷた愛好会のねぷたの前) 太鼓演奏体験・多少の飲酒可能 → 運行コース ※運行順番によるが、PM8:00 前後に出発することもあります。(ねぷた本体を綱で引く体験・重労働ではありません) → 運行(運行時間約50分) 終了後、係員の指示で、榎子ねぷた専用バスに乗車 ※乗車時間約 PM9:00 前後。(移動所要時間約20分) → 町会運行打上会場下車 ※到着時間約 PM9:30 前後。 → 会場で **会員との交流会** (会場着後すぐに食事、飲食可能。集会所ですが、普通の宴会場雰囲気・椅子席) ※正式打上開始時間はねぷた本体が到着してから。約 PM10:00 頃。・ **食事** (豚汁・カレーライスの時もある)・ **飲食** (ビールその他・つまみあり) 場合によっては、アトラクションあり (所要約1時間) → 会場出発 ※ PM11:00 頃。(ホテル等までタクシー約1200円各自負担) → ホテル等着 ※ ホテル着 PM11:15 前後になります。

○連絡事務所 〒036-8323 青森県弘前市浜の町東三丁目6の2 7  
榎子ねぷた愛好会・会長代行(事務局長) 相馬 勝(そうままさる)  
問：☎090-3644-1086 FAX 0172-36-4845  
✉ m\_souma26@yahoo.co.jp